令和８年度　　虎姫高等学校　学校評価

本年度の重点目標

知・徳・体の均衡のとれた未来を拓く人材を育成するために、次の４点を推進する。
①学力向上と自学自習を育む学習指導の推進　　②人間力の向上と自主自律を育む教育活動の推進
③個性の伸長と進路保障の取組の推進　　④家庭や地域との連携による開かれた信頼される学校づくりの推進

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	校長は、生徒や保護者・地域社会の要望にかなった魅力ある学校づくりを推進している。	B		
	ＨＰ、オープンＨｉ、報道資料提供、保護者説明会等により積極的に学校情報を発信している。	A		
2　学習指導	生徒の学習意欲を引き出す授業改善に努め、主体的、探究的な学びを提供している。	B		
	適切な課題や小テストの実施等により、家庭での学習の習慣が確立するよう指導している。	B		
3　生徒指導	挨拶や身だしなみ､遅刻の指導など､生徒の基本的生活習慣が確立するよう指導している。	C		
	情報端末やSNSの利用方法等、ネットリテラシーを高めルールを守る態度を育てる指導をしている。	B		
	自分自身と相手を共に大切にする考え方・態度を育成し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	B		
4　進路指導	希望進路実現に向け、教科指導の改善と補習講座の充実に取り組んでいる。	B		
	生徒の希望進路が実現するよう、きめ細かい面談指導や適切な情報提供に努めている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じ、ホームルーム活動や学校行事に工夫を加えている。	B		
	生徒の文武両道を支援し、学習時間を保障しつつ、緩急ある指導で部活動の充実を図っている。	B		
6　学校図書館	生徒の読書意欲を喚起するよう図書館活動を工夫し、居心地の良い図書館づくりに努めている。	B		
	教科指導やＬＨＲなどと連携し、図書館の積極的活用を進めている。	C		
7　保健・安全指導	学校生活の安全を図り、事故、怪我、病気等には迅速・適切に対応している。	A		
	教育相談の充実を図り、悩みや困りごとを相談しやすい学校づくりに努めている。	B		
8　人権教育	生徒が明るく生き生きと生活できるクラス・学校づくりに努めている。	B		
	人権アンケートや統一ＬＨＲ等により人権教育を組織的・計画的に行っている。	B		
9　環境教育	日常の掃除や大掃除等の活動により、生徒の美化意識を育てている。	C		
	学校行事や授業で、ごみの減量化や環境に配慮した消費のあり方などを考える機会を与えている。	C		
10　事務・管理	保護者をはじめとする、外部からの電話連絡や来訪、問い合わせ等に丁寧に対応している。	A		
	施設や設備の整備により、生徒の学習環境を整え、適切に点検整備を行っている。	B		
11　その他 学校の取組	ＰＴＡと連携・協力し、広報誌発行や学園祭の活性化などに積極的に取り組んでいる。	B		
	ＳＳＨ事業や高大連携事業により、生徒の学びへの意欲や進路意識を高めている。	B		
	ＩＢＤＰの理念や評価方法等が、教科指導等の改善に前向きな影響をもたらしている。	C		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp/